

レベル1: 幼少期5~8歳小学校低学年

目的

- I. からだのしくみが理解でき、自分の体を大切にできる
 II. 成長する自分のからだを大切にできる
 III. 男女が互いに仲良くし、助け合い、自他を大切にできる

実施回数 2回/年 1回90分(10分間の休憩別途有)

*「」:テーマ、・: 介入項目、《》:トピック

・イタリック表示はSIECUSのトピックスを入れた箇所

注)文献番号と同じ

1回目	学習活動	○支援者のかかわり、★評価	必要物品	SIECUSの概念	レベル1	根拠となる理論、参考文献
	<p>講演とグループワーク 「大切なからだ」 (からだの嬉しい名前、特定の機能があることをおさえる。男女のからだの違いに気づき、見た目、衣服の色では判断できないことをおさえる。お互いに大事にしようとする気持ちを育て、性器を清潔にすることの大切さを知り、上手な用便の後始末ができるようになる)</p> <p>・男女のからだの名前やしくみについて (1、2、3、4、6、10、11、18、19、20、21、22、23、24、25、26、27、29、32)</p> <p>→「今日は、わたしたちのからだかどのようなはたらきをするか、そして、からだをどうやって大切にするかについてお話します。このよう勉強をからだの科学といいます。からだの大切な部分についてお話をするとちよっと恥ずかしいと思うかもしれませんが、科学者には科学的なとばがなくて、わたしたちもそれを使えば、恥ずかしくならず話ができます。科学者は「うーん気持ち悪い」とは絶対においけません。そのかわり「なるほどそれはおもしろい」というんですよ」</p> <p>→支援者とともにグループでからだの地図を作っていく</p> <p>→自分の性について「あなたは女の子、男の子？」認識しあう</p> <p>→中絶については、「男女ともに赤ちゃんのものを半分ずつ持っているとお話しましたが、今、お父さん、お母さんとして子どもを育ててみたいと思いませんか。」今育ててみたい人はいるかなと手を上げてもらおう。そして、批判せずにその理由を尋ねる。そして、「赤ちゃんのお世話ができますか。」と尋ね、みんなで考える。</p> <p>→「二人の人間が互いに愛しあっていて、人生を共有したいと思っているならば二人は結婚したり、生涯にわたる約束をします。でも、離婚したり、死別したりすることもあります」子どもをもつことで考えられる身体的な課題、社会的な課題、経済的な課題を挙げて、「自分の生活とかがわってくるのでタイミング」</p> <p>→「みんなはいつ寝ますか。テレビや本などにある情報は事実であるものぞうでないものがあるんですよ。いやな気分になったときは親に話しましょうね」</p> <p>→自己について「は「からだにさわったりすると気持ちよくなることあります。でも、それを他の人の前でするのは失礼なことなんです。他の人がいるところでは、鼻をほじったり、うんちしたりはしないでしょ。それと同じで自分のお部屋やトイレするのはいいけれど他の人がいるところではいいでね。」</p> <p>→「手洗いやうがいなど日常の清潔行動とあわせて性感染症、HIV予防についての説明をする (2日前に寒天に自分の手(洗う前、水洗い、せっけんで洗う)をつけたものを準備し、細菌の増え方を目で見る。)</p>	<p>○からだの部位とはたらきについて、カードを用意し、絵に貼りながら整理する</p> <p>指導のポイント ・髪型、好きな色、服装で性別は区別できない ・行動や言動からも男女の違いを考えさせる(走るのが速い、大きな声など) ・男女ともに赤ちゃんのものを半分ずつ持っている</p> <p>○クラス全員で話しあえるようにかかわる</p> <p>○自分たちで調べることにより、発見の喜びや驚きを感じ取ることができるようにし、絵本なども準備</p> <p>○性器の清潔だけではなく性被害防止も付け加え、身体を大切にしたいと仲良く生活していこうという気持ちまで高められるようにかかわる</p> <p>○話し合いの中で自己の性を認識し、人には違いがあっても自他を大切に生活していこうとする気持ちまで高められるようにかかわる</p>	<p>模造紙、ペン (男女の裸の絵、頭=考える、目=見る、鼻=臭いをかく、息を吐く、口=食べる、話す=息をする、手=持つ・握る、生殖器=子どもをつくる、おしり=座る・うんちをする、足=歩く・走る)</p> <p>用紙、ペン(太) 寒天</p> <p>質問紙調査用紙</p>	<p>重要概念1. 人間の発達 トピック1: 生殖のしくみと性的しくみ、および生理学 トピック2: 思春期 トピック3: 生殖 トピック4: ボディイメージ トピック5: 性的指向 トピック6: ジェンダー アイデンティティー</p> <p>重要概念2. 人間関係 トピック1: 家族 トピック2: 友情 トピック3: 愛 トピック4: 恋愛と交際 トピック5: 結婚、生涯にわたるコミットメント トピック6: 育児</p> <p>重要概念3. 対人関係のスキル トピック1: 価値観 トピック2: 意思決定 トピック3: コミュニケーション トピック4: マスターベーション トピック5: 交渉 トピック6: 助けを求める</p> <p>重要概念4. 性行動 トピック1: 人生における性 トピック2: マスターベーション トピック3: 性行動の共有 トピック4: 禁欲 トピック5: 人間の性的な反応 トピック6: 性的な妄想 トピック7: 性機能不全</p> <p>重要概念5. 性の健康 トピック1: 性と生殖に関する健康 トピック2: 避妊 トピック3: 妊娠と妊娠前ケア トピック4: 妊娠中絶 トピック5: 性感染症 トピック6: HIVとエイズ トピック7: 性的虐待、暴力、ハラースメント</p> <p>重要概念6. 社会と文化 トピック1: 性と社会 トピック2: ジェンダー(性的)役割 トピック3: 性と法律 トピック4: 性と宗教 トピック5: 多様性 トピック6: 性とメディア トピック7: 性と芸術</p>	<p>1● 2● 3● 4● 5●</p> <p>6● 7● 8● 9● 10● 11●</p> <p>12● 13● 14● 15● 16● 17●</p> <p>18● 19● 20●</p> <p>21●</p> <p>22● 23● 24● 25● 26● 27● 28●</p> <p>29● 30● 31● 32●</p>	<p>① ④P42~45、48、49、59 ⑦P50~56</p> <p>⑩ ⑮P8</p> <p>⑯P35</p>

	学習活動	○支援者のかかわり、★評価	必要物品	SIECUSの概念	レベル1	根拠となる理論、参考文献
2回目	<p>講演とグループワーク</p> <p>「大きくなるわたし」(2, 4) (体の成長とともに心も成長していることに気づくようおさえる。人によって成長は異なることを理解し認め合い、自他の成長を肯定的に受け止められるようおさえる) →説明とビデオ</p> <p>・これまでの自分の成長を振り返る</p> <p>一生まれてからの思い出深い出来事を話し合う(家庭、地域の行事など)</p> <p>一振り返りの手がかりから、成長を実感できよ</p> <p>一乳幼児の写真、衣服、家族からの手紙</p> <p>一親子で参加しグループ間で、質問・回答しあう</p> <p>・自分の個性を知ろう (5, 7, 8, 9, 12, 13, 14, 15, 28, 29, 30)</p> <p>一自分の個性について男女グループ間で、質問・回答しあう</p> <p>例:「自分の好きなところは?」「嫌いなところは?」「得意なことは?」「苦手なことは何?」</p> <p>→「宗教によって男性や女性の役割が決まっているところもあるんですよ。良い悪いは別として、いろいろな考え方があります。」</p> <p>→「人は、同じ性や別の性の人をお好きになります。別の性の人に好かれたり、同じ性の人同士をお好きになります。同じ性の人をお好きになった人を冷やかしたりしてはいけませんよ」</p> <p>一いじめについて男女グループ間で、質問・回答しあう</p> <p>例:「意地悪をした経験はありますか」「なんでしたかと思ったの?」「意地悪をされた経験はありますか」「そのときどう思いましたか?」</p> <p>→してほしくないことを話し合う</p> <p>→「みんなはいじめはどう思いますか?動物や草花をいじめたりしていませんか?」「誰かがいじめられていたらすぐに大人に相談しましょう。じっとみている加害者になるからためなんですよ」</p> <p>「知らない人にどこかに行こうと誘われたら」 (16, 17)</p> <p>(世の中には、子どもを誘拐したり、子どもにいたずらする人がいることを知る。そして、日常生活の中で、誘拐や性被害に遭わないための心構えや生活行動を身につける)</p> <p>・交渉と助けの求め方について見本をしてみよ</p> <p>一例 「エレベーターで一人に乗ったときに知らない人が乗ってきたらどうする?」「そんなときはすぐに降りましょう。非常ボタンをおしましょう。」「知らない人全てが悪い人ではありません。みんなの今の年齢ではその判断をつけるには難しいので、まずはお母さんに相談してみましょう。」</p> <p>・性被害について (20, 28)</p> <p>一大切な部分は3つあります。口、胸、性器です。</p> <p>一人は思いやりの気持ちを示したり、うれしかったり、気持ちよくなるためにほほえんだり喜んだりします。</p> <p>一誰かに大切な部分を触られそうになったら写真などをとられそうになったらどうする?みんなに聞く</p> <p>一キスやさわられたくなかったら拒否していいんですよ。おとなは無理やりそんなことはしません。相手の性器をけるとみんなはまだ小さいから足を持ち上げられてしまひ押し倒されそうになります。「いやだ」と大声をあげてすねをけるんですよ。</p>	<p>○卵子の大きさと重さを想像させる</p> <p>○へその輪でつながっていたことをおさえる</p> <p>○まわりの友達との比較ではなく、自分がどのように成長したかをワークシートで調べることで成長期にむかう自分を実感させる</p> <p>指導のポイント</p> <p>○人の発育には、それぞれの時期に発達の特徴があることをおさえる</p> <p>○クラス全員で話しあえるようにかかわる</p>	<p>卵子の大きさと重さを準備、新生児人形</p> <p>用紙、ペン(太)</p> <p>用紙、ペン(太)</p> <p>質問紙調査用紙</p>			<p>① ⑤P20</p> <p>④P42~45, 50.51, 56~58</p> <p>④P42~45, 59 ⑥P32</p> <p>⑧P100~105</p> <p>⑥P35</p> <p>⑦P156~161 ⑧P66~69 ⑩</p> <p>⑥P35 ⑩ ⑧P74~77, 110~115</p>
3回目	<p>・交渉と助けの求め方について見本をしてみよ</p> <p>一例 「エレベーターで一人に乗ったときに知らない人が乗ってきたらどうする?」「そんなときはすぐに降りましょう。非常ボタンをおしましょう。」「知らない人全てが悪い人ではありません。みんなの今の年齢ではその判断をつけるには難しいので、まずはお母さんに相談してみましょう。」</p> <p>・性被害について (20, 28)</p> <p>一大切な部分は3つあります。口、胸、性器です。</p> <p>一人は思いやりの気持ちを示したり、うれしかったり、気持ちよくなるためにほほえんだり喜んだりします。</p> <p>一誰かに大切な部分を触られそうになったら写真などをとられそうになったらどうする?みんなに聞く</p> <p>一キスやさわられたくなかったら拒否していいんですよ。おとなは無理やりそんなことはしません。相手の性器をけるとみんなはまだ小さいから足を持ち上げられてしまひ押し倒されそうになります。「いやだ」と大声をあげてすねをけるんですよ。</p>	<p>○クラス全員で話しあえるようにかかわる</p> <p>★教育プログラムの目標に関して達成できたかを確認する (質問項目) 自尊感情や自己効力感を判断するための質問。コミュニケーションスキルなどを判断するための質問。 自由記述にて全体的な感想、印象深かったもの、何を学び考えたかについて質問。</p> <p>★教育プログラムの目標に関して達成できたかを確認する (質問項目) ライフスキル、コミュニケーションスキルなどを判断するための質問。 自由記述にて全体的な感想、印象深かったもの、何を学び考えたかについて質問。</p>	<p>質問紙調査用紙</p> <p>質問紙調査用紙</p>			<p>⑥P35 ⑩ ⑧P74~77, 110~115</p>

レベル2: 思春期9～12歳小学校上級生

目的

思春期には体つきに変化がおこり、男女の特徴が表れることを理解する
 自他の個性を理解でき、相手の気持ちを考えながら自分の気持ちを伝える大切さを理解する

実施回数 3回/年 1回90分(10分間の休憩別途有)

*「」:テーマ、・:介入項目

-イタリック表示はSIECUCSのトビックスを入れた箇所

i>

1回目	学習活動	○支援者のかかわり、★評価	必要物品	SIECUCSの概念	レベル2	根拠となる理論、参考文献
	<p>講義とグループワーク 「男女のからだの変化」 (思春期における生体にかかわる機能にともない異性への関心がたまることなどから、異性の尊重、人には違いがあっても自他を肯定的にうけとめることが大切であることをおさえる)</p> <p>・男女のからだの特徴 (1、2、3、4、20、22、23、24、26、27、28、29、30、31) 一通常カリキュラムとの関係から、「あなたは何を覚えていますか?」 一初経や射精がおこることを理解し、ビデオをみてどれくらい理解しているのかからの部位についてのクイズを行う 一自慰について 例:「性器に触れたり、こすったりすると気持ちよくなる場合があります。これを自慰とよびます。人に害はなくいけないことではありませんが清潔な手で人目につかない場所で行いましょう。また、家や宗教、文化によっては自慰はいけないと思う人がいます。おうちの決まりをしておく必要がありますね。」 一思春期をむかえた友人に対する言葉かけを考える。これからの自分の生活を考える</p> <p>「妊婦体験をしてみよう」 (2.3.26) (妊婦体験や赤ちゃんがいる生活を体験することにより、妊娠中のからだや生活の変化を実感してもらい、自他を大切にすることを養う) 一妊婦体験グッズを身につけてもらい、40週間続くことを説明する。日常生活(食事、掃除、お買い物、移動など)を体験してもらい 一クラスで感想、意見交換 一実際の妊婦さんに日常生活で気をつけていること、困ることを話してもらい 一電車やバスで妊婦さんが立っていたらどうする?ペビーカーをおしている人をみかけたらどうする?と質問し、グループワーク</p>	<p>○思春期になると次第に大人の体に近づき初経や射精などがおこり、不安や悩みをもつようになることをおさえる ○自慰についてもおさえる ○自己の性を認識し、人には違いがあっても自他を大切にすることをおさえる</p>	<p>ビデオ 用紙、ペン (太)</p> <p>妊婦体験グッズ</p> <p>質問紙調査用紙</p>	<p>重要概念1. 人間の発達 トビック1: 生殖のしくみと性的しくみ、および生理学 トビック2: 思春期 トビック3: 生殖 トビック4: ボディイメージ トビック5: 性的指向 トビック6: ジェンダー アイデンティティ</p> <p>重要概念2. 人間関係 トビック1: 家族 トビック2: 友情 トビック3: 愛 トビック4: 恋愛と交際 トビック5: 結婚、生涯にわたるコミットメント トビック6: 育児</p> <p>重要概念3. 対人関係のスキル トビック1: 価値観 トビック2: 意思決定 トビック3: コミュニケーション トビック4: アサーティブネス トビック5: 交渉 トビック6: 助けを求める</p> <p>重要概念4. 性行動 トビック1: 人生における性 トビック2: マスターベーション トビック3: 性行動の共有 トビック4: 禁欲 トビック5: 人間の性的な反応 トビック6: 性的な妄想 トビック7: 性機能不全</p> <p>重要概念5. 性の健康 トビック1: 性と生殖に関する健康 トビック2: 避妊 トビック3: 妊娠と妊婦前ケア トビック4: 妊娠中絶 トビック5: 性感染症 トビック6: HIVとエイズ トビック7: 性的虐待、暴行、暴力、ハラースメント</p> <p>重要概念6. 社会と文化 トビック1: 性と社会 トビック2: ジェンダー(性的)役割 トビック3: 性と法律 トビック4: 性と宗教 トビック5: 多様性 トビック6: 性とメディア トビック7: 性と芸術</p>	<p>1● 2● 3● 4● 5● 6●</p> <p>7● 8● 9● 10● 11●</p> <p>12●</p> <p>13● 14● 15● 16● 17● 18●</p> <p>19● 20● 21● 22● 23●</p> <p>24● 25● 26● 27● 28● 29● 30●</p> <p>31● 32●</p> <p>33● 34● 35●</p>	<p>① ④P59、60、65～69 ⑤P32 ⑩ ⑪P57～74 ⑫P86～89、106～109 ⑬P107～113</p> <p>⑭P82～85</p> <p>⑮P35</p>

	学習活動	○支援者のかかわり、★評価	必要物品	SIECUSの概念	レベル2	根拠となる理論、参考文献
2回目	<p>「異性／同性への関心について」 (5. 8. 9. 10. 11. 16. 21. 25. 31) (自分の気持ちと相手の気持ちを大切にしながら思いや考えを伝えることができる。自分のしてほしいこと、してほしくないことについてしっかりと伝えるとともに、相手が嫌がることをしないで、してほしいことを進んでしようとする心情や態度を育てる)</p> <p>→ 男女グループ間でロールプレイし、愛情や愛情行為を適切な手段で表現できる</p> <p>→ 相手からされてうれしいこと、嫌なことを考える</p> <p>→ 気持ちを伝える方法を振り返る。方法によって長所や短所について考える。グループ内で発表しあう</p> <p>→ 自分の相手に伝えたい気持ちについて考える。相手にどんな風に自分の気持ちを聞いてもらえると安心か考えて書く</p> <p>→ グループ内で話し合う</p> <p>→ 人々の中には自分と同じ性または違う人の性の人に魅かれ、その人を好きになる人もいます。</p> <p>→ 街で手をつないでいるカップルをみかけることがあります。これは愛情表現の一種ですが若い人たちだけではなくご老人も手をつないでいます。これはお互いを支えあっているということもあるんですけどね。</p> <p>→ 街を歩いているときに視線を感じたりすることはありますか？それにかかわなくてもいいんですよ。フランスでは男性が女性に声をかけるというのが文化としてあるんですよ。</p> <p>→ 国によって様々ですが、そのつど応じていると事件に巻き込まれることもあるんですよ。</p> <p>→ 合衆国では、通常、自分達の意思で結婚相手や終世をともに暮らす相手を選びます。日本では、最近はお見合い結婚や人か</p> <p>「ピアプレッシャーについて」(説明) (13. 14. 15. 17. 18) (喫煙、飲酒、薬物乱用の害をわかっていても、すすめを断れきれなかったり、無意識のうちに近づいてしまったりすることもあるため、具体的な方法を通して自分の身を守るための力を高める)</p> <p>・ピアプレッシャーとは何か ・ピアプレッシャーの例 ・ピアプレッシャーの対処法</p> <p>→ ピアプレッシャーを受けた時、自分ならどうするかについて、具体例をだして話し合う。 例：「タバコを吸っている人ってかっこいいよね。吸ってみようよ」「タバコも吸えないなんてこもだな」 「お酒のまない？」「みんな飲んでいるよ」 「この薬元気がでるよ」「1回くらい平気だよ」 → 自分を大切に思えないときや投げやりな気持ちになったときなど危険な心の状態になったときに誘われたらどうするか話し合う</p> <p>→ 解決方法はどんなものがあるか(周囲に相談、友人と遊ぶ、音楽を聴く、運動する)</p>	<p>○ファシリテータは、グループ全員がロールプレイできるようにかわかる</p> <p>指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異性・同性への関心は自然なことであることをおさえる ・気持ちを伝える方法には、話すだけでなくいろいろな方法(話す、誰かに伝えてもらう、手紙、メモ、パソコン、携帯など)があること、目的によってよい方法を選ぶとよいことを知る ・自分の気持ちを表現、行動することによって相手はどう思うか想像する <p>○ファシリテータは、グループ全員がロールプレイできるようにかわかる</p>	質問紙調査用紙			<p>⑥P32</p> <p>① ④P66～69 ⑥P32 ⑧P64～77 ⑩P100～105、132～139</p> <p>⑩P60～63</p> <p>⑥P35</p>

	学習活動	○支援者のかかわり、★評価	必要物品	SIECUSの概念	レベル2	根拠となる理論、参考文献
3回目	<p>「性と社会・文化」 (33、35)</p> <p>→メディアは、ある人たちの集団をステレオタイプな価値観で否定的に描くことがあります。吐き気がつわりだとかドラマの最後に赤ちゃんが生まれてハッピーエンドとかではないんですよ。その先には育児の楽しさもあるれば大変さもあるんですよ。メディアによる情報が正しいかどうかは、親や信頼できる大人に助けをもとめる必要があります。大人用の性交のビデオを見たことあるかな？あれは作られたものだから、あれが普通ではないんだよ。</p> <p>→特別な宗教を持たなくても、自分たちが精神的に豊かであると考え人もいます。多くの宗教が、性交は結婚関係だけで行われるべきであると教えます</p>	<p>○マスコミ等による誇大や刺激など性情報に接することが増えることをふまえ、冷静に情報の正しい判断ができるようおさえる</p> <p>○メディアの良いところ、悪いところをおさえる</p> <p>○情報の正誤を冷静に判断できないときは親や信頼できる大人に相談してよいことをおさえる</p> <p>★教育プログラムの目標に関して達成できたのかを確認する (質問項目) 性とメディアなどに関する知識、判断力を問う質問。 自由記述にて全体的な感想、印象深かったもの、何を学び考えたかについて質問。</p>	漫画、テレビ 視聴傾向の資料			⑧P78～81、146～151

レベル3:思春期早期12~15歳中学生

目的

思春期における男女のからだのしくみと変化を理解し、適切な行動ができる人それぞれの個性や考え方、価値観があることを理解し、尊重することを通じて自己の存在に価値を見出し自己の個性を正しく理解する
性感染症について正しい知識から、予防方法を理解し正しい行動選択ができる

実施回数 3回/年 1回120分(10分間の休憩別途有)

*「」:テーマ、・:介入項目

・イタリック表示はSIECUSのトピックスを入れた箇所

1回目	学習活動	○支援者のかかわり★評価	必要物品	SIECUSの概念	レベル3	根拠となる理論、参考文献
	<p>講演とグループワーク 「思春期の男女のからだや心の変化」 (思春期における生殖にかかわる機能にともない、性衝動が生じたり、異性への関心が高まることなどから、異性の尊重、情報への適切な対処や行動の選択ができるようにおさえる)</p> <p>・思春期のからだの変化(説明とビデオ) (1.3.22.25) ・異性に関してみたいこと 一男女グループ間で、質問・回答しあう</p> <p>・心や悩みの対処法について (4, 5, 6, 18, 19, 23, 35) 一親子で参加し男女グループ間で、質問・回答しあう</p> <p>一ゲイ、レズビアン、両性愛者の人が自分の性的指向を他人に打ち明けることを「カムアウト」と呼びます。人々が否定的な反応をすることも恐ろしいという恐れがカムアウトを難しくしています。異なる性的指向にかかわらず人々の性的行動の多くは同じです。</p> <p>一あなたが困った時に誰に助けを求めようと思いますか? こういふときはこの人など場面(体のこと、恋愛のことなど)ごとに書いてみよう。</p> <p>「ジェンダーについて」 (4.6.24.32.33.34.35.) (男女は、互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する。それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、寛容の心を育てる)</p> <p>一良い悪いはべつとして文化や宗教により性役割がきまつていることもあることをおさえる</p> <p>一「男らしさ」「女らしさ」と思っていることを発表する</p> <p>一労働、対人関係、デートの時などの場面では? 一ステレオタイプ化することの問題を男女グループ間で、質問・回答しあう</p> <p>男性は強い/女性は弱い 男性は積極的/女性は消極的 男性は感情を抑制している/女性は感情的になる 男性はリーダー/女性は従う人など 一再度、「男らしさ」「女らしさ」と思っていることを発表する</p>	<p>○ファシリテータは、グループ全員で話しあえるようにかかわる</p> <p>○親の思春期の頃の抱えていた思いや対処法も交えながらのグループトーク</p> <p>○思春期における心身の変化について生徒が知りたいと思っていること、教えてもらいたいと思っていることを明らかにする</p> <p>○心身の変化には性差や個人差があることをおさえる</p> <p>○悩みや不安への対処法を選択するための意思決定スキルを適用する</p> <p>○ファシリテータは、グループ全員で話しあえるようにかかわる</p> <p>○性別による固定的な役割観を知り、自分自身がその影響を受けていないかを考え、望ましい男女の人間関係について考え、互いが協力し合いながら生活していこうという意識をもてるようにすることをおさえる</p> <p>○自他を肯定的に捉え、自尊感情を育むことをおさえる</p> <p>★教育プログラムの目標に関して達成できたのかを確認する (質問項目) 二次性徴、ボディイメージ、ジェンダーなどに関する知識を問う質問。 性の自己認識などに関する知識、意識を問う質問。自尊感情、自己効力感を判断するための質問。自由記述にて全体的な感想、印象深かったもの、何を学び考えたかに</p>	<p>用紙、ペン (太)</p> <p>質問紙調査用紙</p>	<p>重要概念1. 人間の発達 トピック1: 生殖のしくみと性的しくみ、および生理学 トピック2: 思春期 トピック3: 生殖 トピック4: ボディイメージ トピック5: 性的指向 トピック6: ジェンダー アイデンティティ</p> <p>重要概念2. 人間関係 トピック1: 家族 トピック2: 友情 トピック3: 愛 トピック4: 恋愛と交際 トピック5: 結婚、生涯にわたるコミットメント</p> <p>トピック6: 育児 重要概念3. 対人関係のスキル トピック1: 価値観 トピック2: 意思決定 トピック3: コミュニケーション トピック4: アサーティブネス トピック5: 交渉 トピック6: 助けを求める</p> <p>重要概念4. 性行動 トピック1: 人生における性 トピック2: マスターベーション トピック3: 性行動の共有</p> <p>トピック4: 禁欲 トピック5: 人間の性的な反応 トピック6: 性的な妄想 トピック7: 性機能不全</p> <p>重要概念5. 性の健康 トピック1: 性と生殖に関する健康 トピック2: 避妊 トピック3: 妊娠と妊娠前ケア トピック4: 妊娠中絶 トピック5: 性感染症 トピック6: HIVとエイズ トピック7: 性的虐待、暴力、ハラメント</p> <p>重要概念6. 社会と文化 トピック1: 性と社会 トピック2: ジェンダー(性的)役割 トピック3: 性と法律 トピック4: 性と宗教 トピック5: 多様性 トピック6: 性とメディア トピック7: 性と芸術</p>	<p>1●</p> <p>2●</p> <p>3●</p> <p>4●</p> <p>5●</p> <p>6●</p> <p>7●</p> <p>8●</p> <p>9●</p> <p>10●</p> <p>11●</p> <p>12●</p> <p>13●</p> <p>14●</p> <p>15●</p> <p>16●</p> <p>17●</p> <p>18●</p> <p>19●</p> <p>20●</p> <p>21●</p> <p>22●</p> <p>23●</p> <p>24●</p> <p>25●</p> <p>26●</p> <p>27●</p> <p>28●</p> <p>29●</p> <p>30●</p> <p>31●</p> <p>32●</p> <p>33●</p> <p>34●</p> <p>35●</p> <p>36●</p> <p>37●</p> <p>38●</p>	<p>②</p> <p>⑤P13, 52~57, 68, 69</p> <p>②</p> <p>⑤P13, 58, 59, 70, 71</p> <p>⑧</p> <p>⑥P35</p>

	学習活動	○支援者のかかわり★評価	必要物品	SIECUSの概念	レベル3	根拠となる理論、参考文献
2回目	<p>講演とグループワーク 「受精と生命誕生について」 ・受精のしくみと生命誕生のしくみ(説明とビデオ) (2.)</p> <p>一どのくらい理解しているかクイズ形式 一妊婦と触れ合う</p> <p>「家族計画と中絶について」 (10, 11.20, 21.26.28, 34)</p> <p>一日本では男性は18歳、女性は16歳で結婚できます。20歳では自分の意思で結婚できます。 一結婚は、お互いを愛し、助け、サポートする二人の人間によるコミットメントであると考えられます。結婚は簡単なものではないんですよ。重みのあるものです。 一お互いに愛し合う関係であれば、性的関係はもっと充実したものになります。ひとには、どんな性的行動を強制するべきではありません。 ・避妊と中絶について(説明とビデオ)</p> <p>一ビデオを見た感想や避妊、中絶の考えなど男女グループ間で、質問・回答しあう</p> <p>「恋愛、性行動におけるコミュニケーションスキル」 ・アサーティブネスの説明とビデオ (7.8.9.10.12.13.14.15.16.20.31.32.35)</p> <p>一ビデオを見て、キスや性交を迫られたときの男女間でのロールプレイ 一キスや性交に応じるか、拒否するか。そのときの思いは？対応はどんな風にする？それはどうして？ 一あらゆる文化には性に関する規範とタブーがあります。ほとんどの学校には、ティーンエイジャーのための性に関する慣習的基準があります 一痴漢は法律で罰せられます。 キリスト教やユダヤ教などいろいろな宗教もあり、性に関する意思決定において左右されることもありますよ。</p>	<p>○ファシリテータは、グループ全員で話しあえるようにかかわる</p> <p>○ファシリテータは、グループ全員で話しあえるようにかかわる</p> <p>★教育プログラムの目標に関して達成できたのかを確認する(質問項目) 受精、妊娠などに関する知識、意識を問う質問。 自尊感情や自己効力感、コミュニケーションスキルなどを判断するための質問。 自由記述にて全体的な感想、印象深かったもの、何を学び考えたかについて質問。</p>	質問紙調査用紙			<p>⑤P50, 51 ⑥P33</p> <p>⑤P13, 66, 67 ⑥P33</p> <p>⑥P35</p>

	学習活動	○支援者のかかわり★評価	必要物品	SIECUSの概念	レベル3	根拠となる理論、参考文献
3回目	<p>講演とグループワーク 「性感染症と予防法について」 (27.29.30) ・性感染症の現状や症状のビデオを見てクイズ形式で回答</p> <p>→コンドームをどのようにパートナーに交渉していくのかのロールプレイ</p> <p>→ワクチンや検査のことは知ってる？今はなくても将来することになる。その時はどうする？ 「性に関する情報」 (17.37.38)</p> <p>・メディアから自分たちはどのような影響を受けているか、信頼性のある情報を選ぶには自分たちはどうしたらいいかを話し合う。 →入手方法はどこ？どんな情報をみたことがあるか。 →そのときはどんな風におもった？ →メディアは時々、あるグループの人たちの性についてステレオタイプに描きます。 →出会い系サイトなどでオンラインでチャットしたり人に会おうのはおもしろい場合がありますが、危険である場合があるので気を付けるべきです。</p>	<p>○避妊具を実際にみせて、利点・欠点、使用法、入手法などについて説明する</p> <p>○ファシリテータは、グループ全員で話しあえるようにかかわる</p> <p>○性に関する情報を知り、その信頼性を確認する ○身近な情報源はどこにあるかもおさえる</p> <p>○ファシリテータは、グループ全員で話しあえるようにかかわる</p> <p>★教育プログラムの目標に関して達成できたのかを確認する (質問項目)性感染症、予防法、避妊情報などに関する知識、意識、判断力を問う質問。自尊感情や自己効力感、コミュニケーションスキルなどを判断するための質問。自由記述にて全体的な感想、印象深かったもの、何を学び考えたかについて質問。</p>	質問紙調査用紙			<p>② ⑤P72～77 ⑥P34 ⑦P136～146 ⑧P152～157</p> <p>② ⑤P13、60～65</p> <p>⑤P33.34</p> <p>⑥P35</p>

Guidelines for Comprehensive Sexuality Education

3RD EDITION

Kindergarten
through
12th Grade

NATIONAL GUIDELINES TASK FORCE

SIECUS 総合的性教育のためのガイドライン第3版
幼稚園から12年生まで

はじめに

SIECUS は、10年以上にわたり、教育者が新しい性教育プログラムを作成する際に手助けとなるよう、また既存のプログラムを評価するのに役立つよう、「包括的性（セクシュアリティ）教育のためのガイドライン—幼稚園から12年生まで」を発行してきました。この「ガイドライン」は、思春期の発達に関わる研究者またヘルスケアおよび教育分野における専門家による、国家レベルのタスクチームによって作成され、すべての教育プログラムが取り入れるべき主要概念、トピックおよびメッセージから構成されています。

「ガイドライン—第3版」は、上記のタスクチームが作成したガイドラインに基づいており、基本構造と内容は以前と同じです。しかしながら、今日の若者が直面している情報や状況を反映して、トピック、メッセージ、および対象となる年代の区分を変更してある部分もあります。さらに、教育者が学校や地域において質の高い性教育を若年層に提供するため、ガイドラインの内容を実行するための助言、アイデア、およびリソースを含んだセクションを「ガイドライン」に加えました。

13年前に最初のガイドラインが作成されて以来、「ガイドライン」は、性教育の分野において有力な刊行物として教育者、カリキュラム開発者、および学校管理者にとって最も信頼すべきリソースの1つになっています。SIECUS は10万部以上の「ガイドライン」を配布してきました。事実、毎月1,000人以上の人がSIECUSのウェブサイトからガイドラインをダウンロードしています。

「ガイドライン」が高い評価を得ており、かつ重要であることを考えると、この改正版を出す事は、胸躍ることでもあり、また怖いことでもありました。「ガイドライン」が無事完成したことに、たくさんの人に感謝申し上げます。

最初に、John M.Lloyd 財団と Barbara Stanton の寛大なる援助により、このガイドラインが作成できましたことに感謝申し上げます。

また、初代のタスクチームのメンバーが、このような大がかりな仕事を請け負ってくれたことに感謝したいと思います。出版会では「ページが空白の時に、君はどこにいた？」という表現があります。ゼロからスタートし、1年間以上にわたり「ガイドライン」を更新し修正する作業にかかる努力と忍耐は想像を超えるものがあります。

さらに、SIECUS の旧職員また現職員—Myra Batchelder、Kate McCarthy、Jason Osher、Ambika Panday、Coralie Meade Rogriguez、Darlene Torres、Arienne Verrilli—はメッセージの更新、情報の追加などの仕事をこなしてくれました。私たちのメッセージを何時間もかけて完成させてくれた Amy Levine に特別な感謝を贈ります。また、このプロジェクトで指導力とリーダーシップを示してくれた SIECUS 社長および CEO である Joseph DiNorcia Jr. に感謝申し上げます。

最後に、「ガイドライン」の批評をしてくださった全ての皆様に感謝いたします。「ガイドライン」の改訂版の為に、概念やトピック、およびメッセージを批評してくれる専門家集団を組織しました。Nora Gelperin、Eva Goldfarb、Joan Helmich、Maureen Kelly、Lis Maurer、Elizabeth Schroeder、Bill Yarber に謝意を示します。彼らのコメントやアイデアはいつも洞察力に満ちたもので刺激があり、時にユーモラスでした。この改訂版の完成は彼らの助けなしでは不可能だったでしょう。

「ガイドライン」改訂版が教育者やカリキュラム開発者にとって、貴重なリソースになり、またすべての若者が、性的に健全な大人になるために必要な性に関する総合的教育を受けられるようになることが、私たちの心からの望みです。

p 11

性教育とは、アイデンティティー、人間関係、愛情表現などのような重要なトピックについての情報を得たり、またそういったトピックに関しての態度、信念、価値を形成する、生涯にわたるプロセスである。SIECUS は、情報を提供する、感情、価値観、態度を探究する、コミュニケーション能力、意思決定能力、批判的思考を育てることにより、社会、文化的、生物学的、心理学的、また精神的、それぞれの領域における性というものを考えた、包括的な性教育をすべての人が受ける権利があると考えています。

親は子供達の最初の性教育者であるべきですが、親自身も助けや後押しが必要です。信仰をベースとする組織（教会など）、地域における団体、学校などがその役目を果たすでしょう。

SIECUS は、学校による包括的な性教育が、全ての学年において教育プログラムに組み込まれるべきだと考えています。そういったプログラムは、生徒の年齢、発達程度、また文化的背景に適したものであるべきで、またそれぞれのコミュニティの価値観、信仰などの多様性を考慮したものであるべきです。学校による包括的な性教育は、家庭

や宗教組織、地域グループ、ヘルスケアのプロなどから受ける性教育を補足、補強するものであります。

学校による性教育が我が国の若者の健康や幸福にとって極めて重要だと考えているのは SIECUS だけではありません。国、州、地域単位の意識調査によると、多くの親達が、禁欲や STD、HIV/AIDS、避妊方法、病気の予防方法などのトピックを含めた、包括的な性教育を学校が提供してくれることを望んでいます。実際、多くの州ではこういったトピックをすべて、あるいはそのうちいくつかを、学校のカリキュラムに入れるよう指示しています。多くの調査研究で、包括的な性教育により、若者が性活動を始める際、性交することを後まで遅らせたり、性交の回数を減らしたり、性交相手の数を減らしたり、コンドームや他の避妊法の使用率を上げたりするという結果が出ており、包括的アプローチの効果を裏づけています。

しかしながら、性教育のコースをどのように進めるべきかの指針がほとんどない状態では、教育者や学校は難しい立場におかれてしまいます。そういった指針を提供し、教育者が新しい性教育のプログラムを作成したり既存のカリキュラムを評価したりするのを助けるため、10年にわたり、SIECUSは「包括的な性教育のガイドライン：幼稚園から12年生まで」を発行しています。この「ガイドライン」は、思春期の研究、ヘルスケア、教育の各分野の専門家から成るタスクチームが作成し、全ての性教育プログラムに必要な主要概念、トピック、メッセージの枠組みが述べられています。

ガイドラインの歴史

80年代後半、エイズの世界的流行がひとつの要因となり、若者の間で望まない妊娠やSTDを避けるための情報やスキルへの感心が新たに広がりました。実際、その頃、かなり多くの州で、STDやHIV/AIDSや性に関する事柄について、学校で子どもたちに教えることが義務付けられました。

しかしながら、同時に、成人になるまでセックスをしないよう指導するべきか、マスターベーションや墮胎などについて教室で討論するべきか、どのトピックスを何歳の時点で導入すべきなのかという広範囲にわたる論争がおこりました。

多くの教育者は困惑し、何も頼りにするものがない状態でした。1989年の調査によると、性教育に関わる教師は、州や地域の教育委員会の指導無しで独自でカリキュラムの作成していました。また他の調査によると、性教育を教える教師のなかで、正式な訓練を受けていた者はほとんどいませんでした。

性的に健全な大人になるために必要となる質の高い教育を受けられないために、結局苦しむことになるのは若者だと、SIECUS は考えました。

1990年、SIECUSは、優れた教育者や保健の専門家、また思春期と教育と性に関する研究機関からの代表者を招き、国家レベルのガイドラインタスクチームを組織することでこういった状況を変えていこうという取り組みに着手することにしました。タスクチームのメンバーには、米国疾病管理センター、米国医師会、国立学校協会、国立教育協会、10セント硬貨財団、米国家族計画財団の代表者や、学校で性教育に携わる者、国レベルのプログラムの開発者、経験あるトレーナーを迎えました。

こういった専門家達は、子供たちのそれぞれの年齢に応じて、どういった概念、トピック、スキル、メッセージなどを紹介していくかという枠組みを作成することにより、総合的な性教育の理想のモデルを作り上げるという困難な課題を担いました。

1991年タスクチームは、「the Guidelines for Comprehensive Sexuality Education: Kindergarten-12th Grade」を発行しました。この「ガイドライン」は、国内で初めての総合的な性教育のモデルとなるものであり、教育者が既存のカリキュラムを評価したり、新たなプログラムを作成する際の助けとなりました。初めて発行されてから、印字書籍および電子書籍として10万部以上を発行しています。さらに、この「ガイドライン」はスペイン語に訳され、米国内のラテン系アメリカ人社会で使用されています。また、「ガイドライン」は、ブラジル、インド、アイスランド、ナイジェリア、ロシアなどで、国レベルのモデルとして採用されています。

第三版は、基本の構成と内容は初代のタスクチームのものと同じです。しかし、新しい情報、性教育に関しての地域住民の考え、今日の若者が直面している現実などを反映し、トピック、メッセージ、年齢区分など、変更してある箇所もあります。

ガイドラインの構成

この「ガイドライン」は、1960年代後半に発行された、画期的な研究「SHES」をモデルとしました。SHESでは、広義のコンセプトと関連性のあるサブコンセプトを定義し、それを幼稚園から12年生のレベル別に階層型に並べるとことにより、保健に関する知識を構成するという革新的なアプローチを行いました。

このモデルを採用し、タスクチームは性と家族計画に関連した重要な知識とスキルを組織的に組み込んだ枠組みを作成しようとしました。それを行うため、タスクチームは、性教育が成功したかどうかを計るためのモデルとして性的に健全な大人の生活習慣とはどのようなものかを考え出しました。そして、様々な情報を集め、健全な生活習慣を身につけるにはどういったスキルが必要かを決め、それを重要概念、トピック、サブコンセプト、年齢に応じたメッセージなどの構成に整理しました。

重要概念：重要概念は、広範囲にわたる性と家庭についての情報を含みます。「ガイドライン」は6つの主要概念により構成されています。各概念には若者が学習すべき重要な項目が含まれています。

重要概念 1：人間の発達。人間の発達は身体的、感情的、社会的、文化的な成長の相互関係により特徴づけられる。

重要概念 2：人間関係。人間関係は生涯を通し、中心的な役割を果たす。

重要概念 3：対人関係のスキル。健全な性は対人関係や人間関係における特定のスキルを必要とする。

重要概念 4：性的行動。性は人間であることの核を成し、個人個人は様々な方法で性を表現する。

重要概念 5：性的健康。健全な性を推進するためには、性行動により望まない結果になることがないよう、特定の情報と態度が必要とされる。

重要概念 6：社会と文化。社会的および文化的環境は、自分の性について知り、それを表現するための方法を形成する。

生活習慣：生活習慣は性教育の重要な成果です。重要概念として述べられているそれぞれの領域について、「ガイドライン」では、教えられた情報やスキルを使って生徒たちが実行できる行動を反映した、性的に健全な大人の生活習慣が述べてあります。たとえば、「重要概念 3：対人関係のスキル」にある行動に、「自己の価値観を知り、それに従って生活する」「自己の行動に責任を持つ」「有効な意思決定をする」というものがあります。（生活習慣についての詳しいリストは、14ページに掲載）

トピック：トピックは、それぞれの重要概念について十分に説明し、生徒たちが望ましい生活習慣を身につけるために必要とされる課題です。各重要概念はいくつかのトピックに分けられています。

性的に健全な大人

性的に健全な大人とは:

- ・ 自己の身体に感謝する。
- ・ 必要に応じて生殖についての情報を手に入れる。
- ・ 生殖若しくは性的経験に関係なく、性的な発達を含む人間の発達を肯定する。
- ・ あらゆるジェンダーの人を尊重し適切な態度で交流する。
- ・ 自己の性的指向を肯定し、他者の性的指向も尊重する。
- ・ 自己のジェンダーアイデンティティーを肯定し、他者のジェンダーアイデンティティーも尊重する。
- ・ 愛や愛情行為を適切な手段で表現する。
- ・ 意味ある人間関係を形成し、維持する。
- ・ 搾取的、操作的な関係を避ける。
- ・ 家族計画や家族関係について、十分な情報を得て正しい選択をする。
- ・ 人間関係を高めるようスキルを使う。
- ・ 自己の価値観を確立し、それに従って生きる。
- ・ 自己の行動に責任を持つ。
- ・ 有効な意思決定をする。
- ・ 批判的思考法を行う。
- ・ 家族や友人、恋愛相手と効果的にコミュニケーションする。
- ・ 人生において自己の性を楽しみ、表現する。
- ・ 自己の価値観に従った方法で自己の性を表現する。
- ・ 衝動的行動をせずに、性的感情を楽しむ。
- ・ 人生を豊かにする性行動と、自己および（または）他者に有害な性行動を区別する。
- ・ 他者の人権を尊重しながら、自己の性を表現する。
- ・ 自己の性を高めるために情報を集める。
- ・ お互いに同意の上での、搾取的でない、正直で楽しく安全な性関係をもつ。
- ・ 定期検診や、胸・睾丸の自己検査などの健康管理をし、問題を早期に見つける。
- ・ 望まない妊娠を効果的に避けるための避妊具の使用をする。
- ・ HIVを含む性感染症の接触、感染を避ける。
- ・ 望まない妊娠をした際、自己の価値観に従った行動をとる。
- ・ 出生前のケアを早い段階で受ける。
- ・ 性的虐待を防ぐ。
- ・ 性に関して異なる価値観に、尊重的態度を示す。
- ・ 性的問題に関する法律制定に社会的責任を果たす。
- ・ 家庭、自己の考えに影響を及ぼす文化的、メディア的、社会的メッセージ、性に関する感情、価値観、および行動がどういったインパクトを持つか考える。
- ・ 性別や性的指向、文化、民族、人種といったものに基づいた世の中の偏見についてしっかり考察する。
- ・ すべての人が性に関する正確な情報を知る権利を勝ち取る。
- ・ 偏見や偏狭な行動を避ける
- ・ 異なる集団の性的指向に関して固定観念を持たない。
- ・ 性に関して、他の人を教育する。

例えば、「重要概念2：人間関係」は次のようなトピックを含みます：家族、交友関係、愛、恋愛関係、交際、結婚、生涯にわたるコミットメント、子供の養育。それとともに、重要概念とトピックは、総合的な性教育プログラムのおおまかなアウトラインを形成しています。（重要概念とトピックは16ページに詳しく掲載）

サブコンセプト：サブコンセプトでは、若者が各トピックにおいて学ばなければならないメッセージが述べられています。それぞれのトピックの始めには、望ましい行動に直接関連するサブコンセプトが述べられています。

例えば、「重要概念1：人間の発達」の中で、トピック4はボディイメージです。

「人が身体について持つイメージは、個々の感情や行動に影響を与える」というサブコンセプトを生徒たちは学びます。サブコンセプトは「ガイドライン」のあちこちに書かれています。

発達レベルに応じたメッセージ：発達レベルに応じたメッセージとは、若者が各トピックについて学ばなければならない情報を含む短い文です。「ガイドライン」では、成長段階に合わせて4つの異なる年齢レベルに分け、各トピックにつき、それぞれのレベルに合わせたメッセージを示しています。

レベル1；幼少期 5～8歳 小学校低学年
レベル2；思春期前 9～12歳 小学校上級生
レベル3；思春期早期 12～15歳 中学生
レベル4；思春期 15～18歳 高校生

例えば、「重要概念6：社会と文化」のトピック5は多様性です。レベル1のための多様性に関するメッセージは「考え方、行動、見方、生き方は、個人により異なる」で、「違いについて話し合うことで、お互いをもっとよくわかるようになる」です。対照的に、レベル4のためのメッセージは、「自分の持つ偏見に向き合う。偏見は難しいものもある」「様々なバックグラウンドを持つ人々の雇用は職場にとって良いことである。」などです。

発達レベルに応じたメッセージは、最初にそのことについて話しをしたレベルで、紹介されるべきです。しかしながら、上のレベルの生徒たちに、以前習ったメッセージを再び紹介してはいけなという意味ではありません。全てのメッセージは異なった年齢のレベルで繰り返し復習されるべきです。加えて、性教育が中学や高校になるまで始まらないプログラムや地域においては、下のレベルで学ぶメッセージをまず紹介することが必要です。

発達レベルに応じたメッセージは、それぞれのレベルの子供たちに適した情報を含んではいますが、教材や活動を使って一語一句その通りに見たり読んだりするのではなく、教育者や他の大人が対象となる子供たちに最適と思われる言葉や方法を使って指導することが望ましいです。

総合的性教育のガイドライン：重要概念とトピック

重要概念 1. 人間の発達	
トピック 1: 生殖のしくみと性的しくみ、および生理学	レベル 1~4
トピック 2: 思春期	レベル 1~2
トピック 3: 生殖	レベル 1~4
トピック 4: ボディーイメージ	レベル 1~4
トピック 5: 性的指向	レベル 1~4
トピック 6: ジェンダー アイデンティティー	レベル 2~4
重要概念 2. 人間関係	
トピック 1: 家族	レベル 1~4
トピック 2: 友情	レベル 1~3
トピック 3: 愛	レベル 1~4
トピック 4: 恋愛と交際	レベル 1~4
トピック 5: 結婚、生涯にわたるコミットメント	レベル 1~4
トピック 6: 育児	レベル 1~4
重要概念 3. 対人関係のスキル	
トピック 1: 価値観	レベル 1~4
トピック 2: 意思決定	レベル 1~4
トピック 3: コミュニケーション	レベル 1~4
トピック 4: アサーティブネス	レベル 1~4
トピック 5: 交渉	レベル 1~4
トピック 6: 助けを求める	レベル 1~4
重要概念 4. 性行動	
トピック 1: 人生における性	レベル 1~4
トピック 2: マスターベーション	レベル 1~4
トピック 3: 性行動の共有	レベル 1~4
トピック 4: 禁欲	レベル 2~4
トピック 5: 人間の性的な反応	レベル 1~4
トピック 6: 性的な妄想	レベル 3~4
トピック 7: 性機能不全	レベル 3~4
重要概念 5. 性の健康	
トピック 1: 性と生殖に関する健康	レベル 1~4
トピック 2: 避妊	レベル 1~4
トピック 3: 妊娠と妊娠前ケア	レベル 1~4
トピック 4: 妊娠中絶	レベル 1~4
トピック 5: 性感染症	レベル 1~4
トピック 6: HIV とエイズ	レベル 1~4
トピック 7: 性的虐待、暴行、暴力、ハラスメント	レベル 1~4

重要概念 6. 社会と文化

トピック 1：性と社会	レベル 2～4
トピック 2：ジェンダー（性的）役割	レベル 1～4
トピック 3：性と法律	レベル 3～4
トピック 4：性と宗教	レベル 1～4
トピック 5：多様性	レベル 1～4
トピック 6：性とメディア	レベル 1～3
トピック 7：性と芸術	レベル 3～4

目標、価値観、基本原則

「ガイドライン」は、異なった地域のニーズや信念に適応するようにデザインされていますが、そうは言っても性に関する特定の価値観や理想とする性教育の本質に基づいています。「ガイドライン」の概念やメッセージを作成する以前から、タスクチームは、性教育の目標、「ガイドライン」に備わっている価値観、性教育の実施についての数々の基本的原則について同意していました。

性教育の目標 性教育の主要なゴールは、大人の性的健康を促進することです。性教育は、若者が性に対して肯定的な考えを持つこと、自分の性的健康に若者が気をつけるための情報を提供すること、若者が、現在そして将来、決断をするスキルを身につけることを助けなければなりません。「ガイドライン」では、性教育の目標は下記の四つの分野に入ると認識しています。

情報：性教育は次に挙げるような人間の性についての正確な情報を提供しようとします。成長と発達、人間の生殖、生体構造、生理学、自慰、家族生活、妊娠、出産、親の役割、性的反応、性的指向、ジェンダーアイデンティティ、避妊、中絶、性的虐待、HIV/AIDS、その他の性感染症。

姿勢、価値観、見識：性教育は、若者が、社会、ジェンダー、性についての自分自身また自分の地域の姿勢について質問し、調べ、評価する機会を与えようとします。こういったことをすることで、若者は、自分の家族の価値観を理解し、自分自身の価値観を見つけ、批判的思考技能を身に着け、自尊心や自己効力感を高め、家族、あらゆるジェンダーの人、性的パートナー、社会全体との関係についての見解を深めることができます。性教育は、若者が家族や社会に対して負う義務や責任を理解するのを助けます。

人間関係および対人関係のスキル：性教育は、相互的で満足できる人間関係を構築する能力に加えて、コミュニケーション、決断、アサーティブネス、拒否するスキルを、若者が身につけるのを助けようとします。性教育のプログラムは、生徒が効果的にまた創造的に大人の役割における性を理解する準備ができるようにしなければなりません。思いやりのある、支えとなる、威圧的でない、お互いを楽しめるような親密な性的関係がつけられる能力を、若者が身につけるのを助けることも含まれます。

責任：性教育は、禁欲、望まない性交や早すぎる性交をどう拒否するか、避妊具の使用、他の性的健康に関する方法、などの問題などを扱うことによって、若者が性的関係に関する責任を果たすこ

とを助けるようにします。

ガイドラインに備わっている価値観

「ガイドライン」は、性、若者、家庭の役割などに関する多くの価値観を基にしています。価値観は国内の様々なコミュニティの価値観を反映していますが、普遍的なものではありません。親、教育者、地域メンバーは、こういった価値観をよく検討して、作ろうとしているプログラムが自分たちの地域の信条、文化、社会規範と調和しているかを再検討しなければなりません。

- ・ 全ての人は尊厳と自尊心を持っている。
- ・ 全ての子供は愛され、養育されなければならない。
- ・ 若者は自分の文化圏において、自分は唯一無二のもので価値あるものだということを自覚するべきだ。
- ・ 性は生きていくうえで、自然で健康的なことである。
- ・ 全ての人は性的な存在である。
- ・ 性は身体的、倫理的、社会的、精神的、心理的、感情的要素を持つ。
- ・ 個人は様々な方法で自分の性を表現できる。
- ・ 親は子供の第一の性教育者であるべきである。
- ・ 家族は、性について価値観を共有するべきである。
- ・ 子供にとって最初の性教育は家庭でされるべきである。
- ・ 多元的共存社会の中では、人は性に関し、コミュニティに存在する多様な価値観や信条を尊重し、受け入れるべきである。
- ・ 性的な関係は相互的なもので、尊敬に基づいたものであるべきで、強制的であったり、搾取的であってはならない。
- ・ 全ての人は、責任ある性的選択をする権利と責任を持っている。
- ・ 子供達が両親や信頼できる大人と性について語り合うことができることは、個人、家族、社会に恩恵を与える。
- ・ 若者は大人に成長する過程として性についての価値観を育む。
- ・ 若者は性的に成熟するための自然なプロセスとして、性を求める。
- ・ 早期の性的な男女関係は危険を伴う。
- ・ 性交を避けることは、妊娠とSTD/HIVを回避するための最も効果的な手段である。
- ・ 性的な関係を持つ若者は、ヘルスケアサービスの情報を知ることが必要である。

基本となる原則

「ガイドライン」は様々な地域や状況で受け入れられるように作成されている一方、理想的な性教育プログラムについての基本的原則に基づいています。委員会では、プログラムは以下のようなやり方で、恩恵を受けると考えます。

総合的保健教育の一部として；

性教育は保健教育プログラムの一部とすべきです。性教育は、健康増進、社会的平等、性的平等、病気の予防など広範囲にわたる項目のなかで扱うことができます。地域や学校は、「ガイドラ

イン」の中概念やメッセージを保健教育全体の中に盛り込むべきです。

良く訓練された教師；

性教育は、特別に訓練を受けた教師により指導されるべきです。性教育を教える教師は、性教育の哲学や方法論を含む人間の性に関する研修を受けるべきです。理想的には、より上の教育機関のコースやプログラムを履修すべきですが、研修、社会人向け講座、集中セミナーなどでも、性教育者となるための準備ができます。

地域を巻き込む；

性教育プログラムの開発や実施にあたっては、地域を巻き込まなくてはなりません。学校ベースのプログラムは、その地域にある多様な価値観や信条を尊重し、慎重に作成されなくてはなりません。親、家族、教師、管理者、地域や宗教のリーダーそして生徒たちなど全てが含まれます。

全ての若者に注目する；

全ての子供と若者は、ジェンダー、性的指向、民族性、社会的、経済的ステータス、障害の有無に関わらず、総合的性教育プログラムにより恩恵を受けられるべきです。

プログラムや教材は、学習者のニーズだけでなく地域における特定の問題や関心事を反映しているものでなければなりません。加えて、カリキュラムや教材は、教室に存在する文化的多様性を反映したものでなければなりません。

多様な性教育法；

性教育は、若者が情報を受け取るだけでなく、自分や社会の態度や価値観を自らが見つけ出し、自分自身が対人関係のスキルを身につける機会を与えられる時に最も有効だといえます。広範囲にわたる教育方法や教育活動が、ディスカッション、ロールプレイ、デモンストレーション、個人やグループによるリサーチ、グループエクササイズ、課題などの学習を促進します。

「ガイドライン」は、性教育プログラムやカリキュラムまた教科書を作成したり分析しようとしている教育者や地域のメンバーにとって価値あるツールです。しかしながら、何度も言いますが、「ガイドライン」は、カリキュラムでも教案でもありません。「ガイドライン」は、教師やカリキュラム作成者の手引き書として作成されており、地域で新しいプログラムを作成したり、現存するカリキュラムの評価をしたり、教師を訓練したり、親を教育したり、研究を行ったり、新しい教材を作成したりする際に使うことができます。しかしながら、どのトピックとメッセージを採用するか、またどの教案やフォーマットを利用するかは、最終的に地域と学校が決めなければなりません。